

平成23年度 埼玉高速鉄道(株)経営懇話会の概要について

1 日 時 平成23年8月18日(木) 14:00~15:40

2 場 所 埼玉会館 3B会議室(ぶな)

3 概 要

(1) 埼玉高速鉄道株式会社の経営状況及び経営改善計画の取組状況について

- ・ 会社から、平成22年度決算及び増客増収や経費削減等の経営改善計画の取組状況等について説明。

- ・ 主な質疑(会社が答弁)

Q 23年度は、定期外の利用者を増やすため、川口緑化センターと連携し、都内の外国人の方に安行の植木や盆栽を見にSRに乗って来てもらおうと、「大盆栽展」を10月に計画しているということであるが、情報発信はどうするのか。

A 「大盆栽展」は、10月8,9,10日に川口の安行産の盆栽展を初めて独自に行うものである。この前の9月4,5日に、「ミニ盆栽展」を麻布十番にあるパティオ十番で開催し、来場いただいた外国人の方に「大盆栽展」を案内するほか、質の高いポスターやリーフレットを作成するとともに外国人向け雑誌に広告を掲載していく。

Q 決算の説明について、鉄道事業においては減価償却費と修繕費とを一体的に把握した方が実態としてわかりやすいのではないか。また、鉄道事業経営では鉄道設備の安全管理が最重要なので、計画の取組のなかに、安全管理の考え方やその実施状況についても反映すべきではないか。

A ご指摘の点について努力し検討していきたい。

(2) 経営改革プランに係る県及び沿線3市の取組状況について

- ・ 県から、平成23年度の県・沿線3市の利用促進等の取組状況や、沿線の開発状況等について説明。

- ・ 主な質疑(各市が答弁)

Q 沿線の土地区画整理事業の促進やスピードアップの取組にはどのようなものがあるか。

A 鳩ヶ谷市では、家屋密集地の事業スピードアップのため住宅市街地総合整備事業と区画整理事業との並行事業とし、種地を確保しそこを起点に集団換地を行うことを目論んでいる。

A 川口市では、都市計画基本方針において新井宿駅については(仮称)赤山歴史自然公園の整備を含む周辺の緑化産業をはじめとする緑の環境保全に十分に留意した計画的な基盤整備を行うことなどとしている。

A さいたま市では、このエリアについては重点的な予算を配分し取り組んでいる。浦和東部第一地区については、地盤改良が進み駅前広場の造成も進んでいくので、これから形が見えてくると期待している。区画整理というハードの取組以外にも産業集積ということで企業の誘致にも力を入れている。市長を本部長とした産業展開推進本部を立ち上げ、積極的に企業誘致を展開している。

(3) その他

- ・ 川口市から、川口市と鳩ヶ谷市の合併について説明し、経営支援について鳩ヶ谷市分を含め引き続き予算措置に努めていく旨説明。